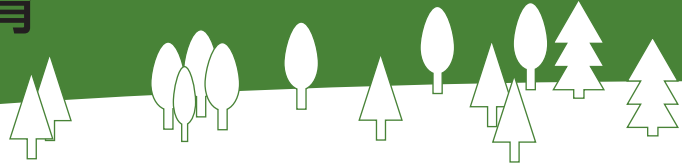


オフィスでの取り組みと環境教育

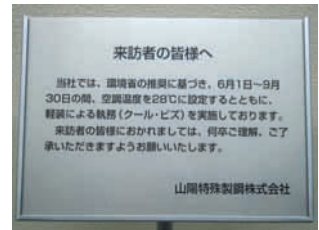


従業員一人ひとりが、社会の一員であるという認識のもと、省エネ活動や環境教育などをととして、積極的に環境保全を推進しています。

オフィスでの取り組み

省エネルギー活動

6月から9月の間の冷房温度を28℃に設定（クール・ビズ）したり、昼休みの電気消灯・パソコンの電源オフ、印刷枚数低減、事務用品の共有化等に取り組むなど、省エネ活動を推進しています。



一般廃棄物の分別回収

ダンボールや紙ごみは、回収ボックスを設け分別回収を行い、リサイクル業者へ売却しています。また、空き缶・ペットボトル・プラスチック容器等も分別回収を徹底し、再生利用に寄与しています。

環境教育

環境保全に関する従業員の意識向上を図るため、新入社員教育など、階層別環境研修会を定期的を実施しています。また、地球温暖化問題の最近の動向について、環境管理部長が全従業員や取引先に対し説明会を実施しました。環境保全への意識啓発の一環として、従業員による環境家計簿の作成の実施や、公害防止管理者などの環境保全に関する資格取得を推進するための報奨制度も設置しています。



環境保全コスト

環境省のガイドラインを参考に、環境保全活動に要したコストを示します。

●2009年度 環境保全コスト

(単位：百万円)

分類	費用	投資
1. 事業エリア内コスト	1,403	282
2. 上・下流コスト	232	304
3. 管理活動コスト	143	3
4. 研究開発コスト	24	0
5. 社会活動コスト	26	0
6. 環境損傷コスト	16	0
合計	1,844	589